

2021年は新型コロナウイルスの蔓延によって生活スタイルが一変した。本誌の編集会議もWebによって行われるなど、アナログ人間にとっては新しいことの連続で当初は操作もままならず、あたふたしていたことが思い出される。2021年の最大のイベントは、1年遅れでの東京オリンピック開催であった。日本人選手の活躍で盛り上がりを見せたが、つい3カ月ほど前のことであったのに遠い過去の出来事と感ずるのは私だけであろうか。無観客開催となり経済効果の目論見も外れ、大きな後遺症が残ったと思われる。国民のワクチン接種率が70%を超え患者数も減少しているが、果たしてこのまま収束に向かうのか、まだ油断できない状況下にある。多くの学会や研究会もハイブリッド形式となり、学会の運営様式も大きく様変わりした1年であった。新型コロナにより多くの施設で内視鏡検査数も減少したと推測される。大腸癌やポリープの発生はコロナの状況下でも頻度には変わりはないはずであり、来院控えによる癌の進行が懸念される。

今回は、「Cold polypectomyの課題」をテーマとして企画させていただいた。本邦では、高周波を使用するpolypectomyが日常診療の標準的手技とされてきたが、10 mm以下のポリープに対する切除手技として簡便で、抗血小板薬や抗凝固薬投与下でも偶発症も少ないなどの検討から、最近ではcold polypectomyが一般化しつつある。これまでに集積された経験をまとめ検討することで現状の課題を明らかとし、今後の大腸ポリープ切除に寄与することを目的として企画させていただいた。各エキスパートの先生方に最新のデータや経験をまとめていただき本手技に関する課題を執筆していただいた。日常診療のお役に立てるものと自負している。

(五十嵐正広)

臨牀 消化器内科® Vol. 37 No. 1

©2021年12月20日発行

定価 3,300円

(本体3,000円+税10%)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2021, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-12-8 電話 03-5226-2791